

## 第3回小樽市健康増進計画評価会議 議事録（案）

### 【要 旨】

開催日時 平成28年9月27日（火） 午後6時30分から午後8時

開催場所 小樽市保健所3階講堂

出席状況 ○委員

中川会長（学識経験者）

近藤委員（小樽市医師会）、市村委員（小樽市歯科医師会）、山本委員（小樽青年会議所）

吹田委員（小樽民間保育協議会）、嶋田委員（小樽食生活改善協議会）

以上6名

○小樽市

保健所 中村主幹、宇田川主幹、山谷主幹

健康増進課 柴田課長、藤川主査、山本主査、須摩主査、菊地主査

鎌田主査

医療保険部 国保年金課 勝山課長

以上10名

（欠席委員）：渡辺委員（小樽薬剤師会）、中村委員（小樽市商店街振興組合連合会）

新川委員（小樽市総連合町会）、林委員（小樽私立幼稚園連合会）

### 会議要旨

#### 1 開会

#### 2 報告

（1）平成27年度 第2次健康おたる21実施報告

事務局から資料1に沿って説明

### 質疑応答

会長：今の報告について何か質問はありますか。

会長：なければ私から。平成26年度と平成27年度の達成状況を見ると、平成26年度に達成しているのに平成27年度は未達成となっているものが3件、その逆に平成26年度未達成であったが平成27年度に達成できたものは1件となっている。総合的に見ると平成26年度のほうが良い結果となっている。その理由は何かあるか。

事務局：達成から未達成になった1つ目は、子宮がん健診の受診率。検診が無料となるクーポン券を一定の年齢の方へ配布しているが、受診につながらない。受診率が上がらない。なぜ低下したかはわからない。2つ目は、麻しんワクチンの接種率。未接種の理由を分析するデータがない。3つ目は、思春期の健康教育推進。校長会等で周知を図っているが、健康教育希望の申込みにつながっていない状況にある。

事務局：学校での思春期教育は、学校独自で実施しているところもあり、保健所が実施していない学校において、思春期教育をしていないというわけではないと思われる。

会長：血圧の自己測定については、平成26年度未達成から平成27年度達成になっており、良かったと思う。しかし、逆のものが多かったので、平成28年度は達成できるよう取り組んで欲しい。

事務局：本日の参考資料として、「平成27年度事業評価及び平成28年度事業計画」を配布しているので、参考にしていただきたい。

委員：9ページのヘルシーメニューについて。登録件数が現在とても少ない。お店に登録のメリットなどをもっと伝える必要があるのではないかと。ホームページなどでも見られるのか？

事務局：ホームページで見られる。

委員：メリットを説明し広くPRし、登録店の数を増やすことが大切と思う。

事務局：ヘルシーメニュー登録の基準がなかなか厳しいということもあるが、できるだけこの活動を続けていきたいと考える。

委員：美唄市で受動喫煙防止条例が施行されたが、小樽ではないのか。

事務局：今のところは予定していない。考えなければならないことではあると思うが、まだ自治体で始めているところは少ない。もう少し他都市の状況を調べていきたい。

委員：3ページのがん検診の受診率はどのように計算するのか。

事務局：国から計算方法が示されている。40歳以上の人数が対象だが、企業で健診を受けられる人が除かれることになり、割合が国の基準で決まっている。

委員：胃がん健診の受診者のほうが、大腸がん検診より多いのではないかと。計算の仕組みがよくわからない。

事務局：ここの受診率は健康増進法によるもので、企業で受ける人は除かれるので、ここでは国保や生保の人が対象となる。これが小樽市の実態ではないと思うし、国レベルでも受診率は不正確と言う話はある。過去に市で実施したアンケートでも、受診率はもう少し高い結果が出ていた。制度的な問題はあると思うが、計算方法は全国的なものであり、どこの市町村も同じ条件で行われている。小さな町村等で全数把握ができているところは受診率を正確に出せると思う。

委員：受診率は上がらないのでは？

事務局：実際、実数ではないので正確ではない。

事務局：ここの胃がん検診はバリウムだが、内視鏡で受けている人も存在する。内視鏡の場合は受診者の数から除かれる。バリウム、内視鏡両方が対象となれば受診率は変わると思う。

(2) 「第2次健康おたる21」中間評価アンケートの集計状況について

事務局から資料2に沿って説明

質問及び意見なし

(3) 第4回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議報告

事務局から資料3に沿って説明

質問及び意見なし

#### (4) 今後の会議スケジュールについて

##### 事務局から資料4に沿って説明

- ・平成29年3月に第4回評価会議を予定。中間評価アンケートの分析結果を含め報告し、後期に向けた健康課題を御説明できると思う。
- ・平成29年6月は委員改選となるが、引き続きお願いしたい。
- ・平成29年度は後期計画を策定予定。後期計画策定のため、会議の回数増も考えられるが、評価会議の委員の皆様には御協力いただきたい。平成29年度の会議スケジュールは次回3月に示したい。

### 3 その他

事務局：歯周病対策「あなたの歯は何本？」事業について説明。

この事業は歯周病対策として、歯科医師会、歯科衛生士会と共同し、歯科医院受診者に対し、歯科関係者が直接説明を行うことで、歯を保つ気持ちを強く持っていただくとともに、歯を保つためにセルフケアだけでなくプロフェッショナルケアの大切さを理解していただくことをねらいとしている。

この事業を行うに当たり、歯科医師会、歯科衛生士会と「小樽市民の歯科口腔保健を考える会」を立上げ、ポスターやリーフレットを作成した。ポスターやリーフレットには、自分のお口の状態を判断するための年齢と歯数のグラフを用いている。これはパーセントイルグラフで、これにより同じ年齢の方100人中の自分の順位を知ることができる。同時に、年齢を重ねても歯を維持していれば、順位は上がるので、歯を維持する励みにもなると思われる。

委員：歯科医師会から一言。これまで3者で協力してこのようなことを行うことはなかった。

歯科医師会も全面的に協力していこうと考えている。歯と全身疾患の関係についてのエビデンスも明らかになっている。高齢になっても歯が多い人は、転倒率も低く骨折や寝たきりになる人も少なく、医療費も低い。高齢者の楽しみは口から食べる。口から食べて、生活の質の向上を高めることが大切。そういうわけで、このような事業は非常にありがたい事業であり、歯科医師会も行政と一緒に頑張っていきたい。

### 4 閉会